

只見線応援団

通信
VOL.15

TADAMI LINE SUPPORTERS

2024年
9月発行

発行：福島県



只見線全線運転再開2周年！ 観光列車「SATONO」が只見線を運行！



JR東日本東北本部提供

新しい観光列車「SATONO」が、只見線を運行します。緑を基調とした1号車は「郷・山・森の緑、めぶき、わかば、常盤色」を、青の2号車は「空の青・川のせせらぎ、海の蒼・雪化粧」をイメージ。車両の色合いで南東北の豊かな風土が表現されています。乗車すると「SATONO記念乗車証」がもらえるほか、往路の昼食には和食料理人・野崎洋光氏監修、「割烹 田季野」製作の「奥会津わっぱべんとう 結」をご用意。復路はあわまんじゅうのお土産をご用意しています。この機会にぜひ乗車を。片道バス観光付きコースもございます。

10/1 運行 全3コース

観光列車「SATONO」で行く！只見日帰りの旅

- コース1 往復 SATONO
- コース2 往路 SATONO + 復路 観光(霧幻峡の渡し)
- コース3 往路 観光(圓藏寺) + 復路 SATONO

只見線
団体臨時列車
特設ページ



詳しくはこちら

会津乗合自動車

奥会津を巡る旅

バスガイドの案内を聞きながら只見線乗車もできる
日帰りバスツアー



出発日

9月14日[土]～12月7日[土]の
土日祝日運行(運休日有)

只見線乗車+大塩炭酸場、湯ら里でバスツアー特別昼食、
日本一小さな醸造場「ねっか」見学&試飲と奥会津を堪能！

10月以降は会津柳津を中心に磐気楼ダイヤ(!?)の
バスを運行計画中！



詳細・申込 会津バスHP <https://www.aizubus.com/>

絶景に逢い、笑顔がつながる。

只見線 フォト コンテスト

JR只見線沿線のベストショットを募るフォトコンテスト。今回も四季に移ろう絶景や地域のグルメ、笑顔のスナップなど魅力あふれる作品が集まりました。

受賞作品は
こちらを
チェック



只見線フォトコンテスト | Q

第2回 只見線フォトコンテスト優秀作品



最優秀賞

作品名 間に浮かぶ

秋の夕方に走る列車を露出を調整して斜光線を浴びて走る列車が浮かび上がるような情景を表現したいと思って撮ったカットです。

(撮影者：大藪さん)



撮影地
新潟県
魚沼市

優秀賞

作品名 六十里越峠、秋の暮

福島県と新潟県を跨ぐ「六十里越峠」。魚沼地域で生活する者として、新潟県側の風景も含めて只見線である事を皆様にお伝えしたく、六十里越峠の秋の絶景を撮影しました。(撮影者：からまたるさん)

会津
鉄道

お座トロ
展望列車で行く！

只見線秋の旅

人気の「お座トロ展望列車」が只見線を走ります

参加者特典

- 記念乗車証
- 金山天然炭酸水



※写真はイメージです。

日帰り 2024年
添乗員同行 9月27日[金]・30日[月]・
10月11日[金]・15日[火]・18日[金]

合計5日間

旅行代金
お一人様
トロッコ席 7,000円
お座敷席 7,500円

食事付き
(弁当・お茶)

※お席は、基本相席となります。
※どちらのお席も秋・冬期間のため窓ガラス付きです。

1BOX4名様まで
トロッコ1BOX 18,000円
(弁当別途お申込み)

弁当

はま・なか・
あいづ輪っば弁当

※9月運行分のみ、会津のそばを
使用した(そば寿司)付き

申込方法

会津鉄道ホームページから
お申込みください。

オンライン申込み 旅行センター
<http://www.aizutetsudo.jp/>



募集人員 80名 (最少催行人員30名様)

お問い合わせ

旅行企画・実施 会津鉄道株式会社

TEL.0242-36-6162

営業時間：8時30分～17時00分(土・日・祝日を除く)

只見町が舞台となった映画 / 青春18×2 君へと続く道 ロケ地を巡る!

ジミー・ライの紀行エッセイを日台合作で映画化した「青春18×2 君へと続く道」。5月3日の公開以来、2か月以上のロングランヒットとなり、現在はNetflixで好評配信中です。映画の舞台が只見線沿線であることも注目を集めています。

Netflixは、Netflix, Inc.の登録商標です。

— STORY あらすじ —

18年前の台湾で、高校3年生のジミーは日本人バックパッカーのアミに恋をする。アミの突然の帰国に意気消沈するジミーは、アミと「ある約束」を交わした。そして時がたち現在。アミとの約束を果たそうと日本へ向かったジミーは、東京や長野、新潟を経てアミが育った只見を目指す。



©2024「青春18×2」Film Partners



1 只見駅ホーム

ジミーが降り立つ只見線のホーム。駅直近「只見町インフォメーションセンター」にてレンタサイクルが貸し出されるほか、駅裏手の要害山では、秋までトレッキングが楽しめます。



2 黒沢橋

ジミーは中里さんのトラックにのせられ、アミの生家に向かいます。そのときトラックが走るの、伊南川に架かる「黒沢橋」。まっすぐに伸びる全長157mの道路橋です。



「青春18×2」×「只見町」
応援プロジェクト

詳しくは
こちら



3 中里さんのお店(まるまさ商店)

アミを幼少期からよく知っているという中里さんの案内で、アミの実家へと向かったジミー。蒲生地区の「まるまさ商店」は物語中、「中里さんが営む店」として登場します。



4 アミの家

「アミが暮らしていた」という設定の塩沢地区の民家。物語では2階がアミの部屋になっていて、天井が空のように青く塗られていました。天井は今も確認することができます。

只見線ポータルサイトがさらに便利に!

只見線ポータルサイト
TADAMI LINE OFFICIAL SITE

www.tadami-line.jp



2024年7月に「只見線ポータルサイト」がリニューアルしました。アクセス情報やモデルコースを充実させたほか、季節ごとの情報、SNSとの連携など、さらに便利に只見線を楽しむことができます。是非お試しください。



おすすめページ

特集ページには、新たに只見線沿線の夏を楽しむコンテンツを掲載しました。また、自転車と奥会津を楽しむサイクリングマップも掲載しましたので、是非ご活用ください。



福島県 只見線管理事務所 〒965-0041 福島県会津若松市駅前町1-1 Mail tadamisen@pref.fukushima.lg.jp

(会津川口駅〜只見駅間の鉄道施設(会津川口・只見駅の駅舎を除く)の管理)

※その他の区間の鉄道施設、列車の運行、観光等に関してはJR東日本または各市町村観光情報センター等へお問い合わせください。

・掲載の写真・イラストは、すべてイメージです。
・実物と異なる場合もございます。予めご了承ください。
・令和6年度 福島特定原子力施設地域振興交付金事業